

世界史 B

1 次の文章を読み、下の設問に答えよ。

前1000年頃、古代イタリア人が北方からイタリア半島に南下した。そして、その一派である（ 1 ）人によって建設されたのが都市国家ローマである。ローマは（ 2 ）人の王によって支配されていたが、のちに王を追放して共和政（レスプブリカ）となった。

ローマは他の都市国家をつぎつぎに征服し、前3世紀前半には全イタリア半島を支配した。ついでローマは、（ 3 ）人の植民市で、西地中海を支配していた（ 4 ）と3回にわたるポエニ戦争^(b)をおこした。ローマはこの戦いに勝利をおさめ、前2世紀半ばには、東地中海にも進出し、地中海全体をほぼ支配するにいたった。

しかし、ローマ社会には深刻な変化もおきていた。長期の出征を強いられた中小農民が農地の荒廃や属州からの安価な穀物の輸入によって没落する一方で、支配階層は属州の拡大によって莫大な富を手に入れることができたのである。^(c) こうして両者のあいだに経済的格差が生まれ、結果的に共和政の土台が大きくゆらぎ、軍事力の低下を招いたと考えられる。

前2世紀後半、この状況に危機を感じた（ 5 ）兄弟は、あいついで（ 6 ）に選ばれると、改革を実行しようとしたが、それも失敗した。有力政治家を中心に争いが絶えなくなり、ローマは「内乱の1世紀」^(d)に突入し、混乱は頂点に達したのである。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 6 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、以下の文を読み文中の空欄（ A ）～（ D ）にあてはまる語句を答えよ。

ローマ共和政では、貴族（パトリキ）と平民（プレブス）のあいだに身分の差があり、貴族のなかから最高官職である2人の（ A ）が選ばれたが、実質上の最高決定機関は公職を経験した貴族の会議である（ B ）だった。

前367年、（ C ）法によって（ A ）のうち1人は平民から選出されることになった。さらに前287年（ D ）法は、平民会の決議は（ B ）の承認を得ずとも国法となるとし、こうして平民の政治上の権利は尊重されるようになった。

問3 下線部(b)に関連して、第2回ポエニ戦争でローマ軍を苦しめたが、ザマの戦いで大敗したカルタゴの将軍は誰か。次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. スキピオ イ. ハンニバル ウ. テミストクレス エ. アントニウス

問4 下線部(c)に関連して、富裕層である支配階層が、征服活動で得た土地などで、戦争捕虜を奴隷として酷使し、オリーブやブドウなどの栽培をおこなった。この制度を何と呼ぶか、カタカナで表記した用語で答えよ。

問5 下線部(d)に関連して,以下の文を読み文中の空欄(E)～(G)にあてはまる人名を答えよ。

平民派の政治家マリウスと閥族派の政治家(E)は互いに私兵を率いて争ったり,また見世物に使われた剣闘士(剣奴)が(F)に率いられて大反乱を起こしたりするなど,ローマでは混乱が続いた。こうした対立のなかでカエサルは,(G)やクラッススと盟約をむすび,政権を握ったのである。

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

イスラーム世界の文明は、古くから多くの文明が栄えた地域を中心に発達した。アッバース朝の都であった（ 1 ）に9世紀に置かれた「知恵の館」（バイト=アルヒクマ）を中心に、ギリシア語の文献がアラビア語に翻訳され、ギリシアの医学・天文学・幾何学・光学・地理学などが取り入れられた。またインドからも医学・天文学・数学を学んだ。

これらの学問を学んだ人々は、臨床や観測・実験を重視することで、その成果をさらに豊かで正確なものにしていった。『四行詩集（ルバイヤート）』の作者として知られる（ 2 ）は、数学・天文学にもすぐれ、きわめて正確な太陽暦の作成に関わっている。また、イラン各地の宮廷に医師や宰相としてつかえた（ 3 ）は、『医学典範』を著し、ギリシアやアラブで発達した医学理論を集大成したことで知られる。

イスラーム世界では、ギリシア哲学、中でもアリストテレスの哲学が熱心に研究された。ムワヒド朝で法官や宮廷医としてつかえた（ 4 ）は、アリストテレスの多くの著作に注釈をつけたことで有名である。イスラームの思想界は、10世紀以後しだいに神秘主義思想の影響を強くうけるようになったもの、イスラームの学者たちがギリシア哲学の用語と方法論を学び、合理的で客観的なスンナ派の神学体系を樹立したことから、信仰と理性の調和はよく保たれていたとされる。

一方、ヨーロッパの中世世界はイスラーム世界と対立を続けていたが、11～13世紀にイベリア半島のトレドを中心に、アラビア語に翻訳された古代ギリシアの文献や、イスラーム世界で発達した科学・哲学の著作が、つぎつぎとヨーロッパの言語に翻訳され、その後ルネサンスを开花させるにいたった。イスラーム文明は、ギリシア文明をヨーロッパ文明へと橋渡しするうえでも、重要な役割をはたしたのである。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 4 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、古代ギリシアで『幾何学原本』を著し、平面幾何学を大成した人物は誰か、答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、数字や十進法に加え、ある数学的概念が古代インドからイスラーム世界にもたらされ、その後ヨーロッパにも伝わった。この概念とは何か、答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、アリストテレスは古代ギリシアでプラトンに学び、プラトンの死後にマケドニアの王子の教育係を務めた。この王子は王に即位したのちに東方遠征をしたことで有名である。この人物の名前を答えよ。

問5 下線部(d)に関連して、アッラーと一体化する経験を目指し、羊毛のぼろを着て修行に励む人々は何と呼ばれたか、答えよ。

問6 下線部(e)に関連して、かつてイスラームの王朝があったこの地域を11世紀後半に征服し、トレドを都としたキリスト教国の名前を答えよ。

問7 下線部(f)に関連して、翻訳で主に使用された言語は何か。次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. フランス語 イ. ポルトガル語 ウ. ラテン語 エ. ドイツ語

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

東南アジアのベトナム北部では、唐滅亡後の政治的混乱を機にベトナム人が独立をはたし、11世紀の初めには（ A ）氏が（ 1 ）をたてた。その頃、主要航路が広州・チャンパー間を直行して海南島の東を通るようになったため、特産品のないベトナム北部は国際交易から切りはなされた。（ 1 ）の最初の長期王朝である（ A ）朝は、宋から儒教や仏教を取り入れるなど中国化をすすめた。次に成立した（ B ）朝は、3度にわたるモンゴルの侵攻を撃退する一方、地方行政機構も整備し、東南アジアで唯一の中国的な国家になっていった。その一方で字喃（チュノム）という、漢字にもとづく独自の文字がつくられるなど、中国文化を摂取しつつも中国とは異なる独自の文化が形成された。

その後、（ 1 ）は15世紀はじめに明に併合されたものの、1428年には（ C ）朝のもとでふたたび自立し、儒教・律令制などにもとづく中国的な官僚国家体制をつくった。16世紀になると、ベトナムの北部では鄭氏が（ C ）朝の実権をにぎった。一方ベトナム中部では、阮氏が広南王国をたてて国際交易で繁栄し、フエに都城を建設するとともに、18世紀には勢力をメコン川下流域にまで広げた。鄭氏も阮氏も、（ C ）朝の名目的な支配権を認めていたが、1771年に（ 2 ）の反乱がおこると、両氏は（ C ）朝とともに滅亡した。その後、敗れた側の一族の人物である（ 3 ）が、（ 2 ）の勢力をやぶってベトナム全土を支配し、1802年に（ D ）朝をたてた。

（ 3 ）はフエに都を定め、清の冊封を受け、国号も（ 1 ）にかわって越南（ベトナム）とし、中国をモデルとする統治制度をした。（ D ）朝は当初、西洋勢力と良好な関係を築いていたが、1825年にキリスト教の布教を禁止し、信徒や宣教師を迫害すると関係は緊張した。その後、フランスの皇帝（ 4 ）は1858年、宣教師の処刑を口実にベトナム中部を攻撃し、さらにフランスは1862年、（ D ）朝にキリスト教布教の自由と南部のうち東部3省の割譲を認めさせ、翌年にはカンボジアを保護国とした。その後もフランスは（ D ）朝に軍事的圧力を加えつづけ、1884年にベトナムを保護国とした。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 4 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 文中の空欄（ A ）・（ B ）・（ C ）・（ D ）の組み合わせで、正しいものを1つ選んで、記号で答えよ。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| ア. A = 陳, B = 黎, C = 李, D = 阮 | イ. A = 李, B = 陳, C = 黎, D = 阮 |
| ウ. A = 黎, B = 李, C = 陳, D = 阮 | エ. A = 李, B = 陳, C = 阮, D = 黎 |

問3 下線部(a)に関連して、唐の滅亡は、周辺諸民族の動きに大きな影響を与えた。このうち、(ア)916年に耶律阿保機によってたてられた王朝と、(イ)936年に朝鮮半島を統一した王朝の名前を、それぞれ答えよ。

問4 下線部(b)に関連して、東アジアや東南アジアでの外洋航海にひろく利用された船は何と呼ばれたか、答えよ。

問5 下線部(c)に関連して、宋代に成立した哲学的な新儒学をのちに大成したとされる、南宋を代表する儒学者は誰か、答えよ。

問6 下線部(d)に関連して、明は15世紀前半に大艦隊を東南アジアからインド洋沿岸に派遣して、沿岸地域からの朝貢貿易がさかんになった。(ア)最初に艦隊派遣を行なった時の皇帝の名前と、(イ)この艦隊をひきいた人物の名前を、それぞれ答えよ。

問7 下線部(e)に関連して、18世紀末から19世紀初めの清では大規模な反乱がおり、その鎮圧のため王朝財政が困窮化していった。この反乱は総称して何と呼ばれるか、答えよ。

問8 下線部(f)に関連して、フランスによって割譲されたこの地域は、何と呼ばれたか。次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. トンキン イ. アンナン ウ. コーチシナ エ. ラオス

問9 下線部(g)に関連して、(ア)フランスが(D)朝を保護国とするきっかけとなった戦争の名前と、(イ)(D)朝を含む周辺地域をあわせて1887年に成立したフランスの植民地の名称を、それぞれ答えよ。

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

1919年1月、連合国代表が集まりパリ講和会議が開かれたが、ドイツをはじめ敗戦国^(a)は招かれず、ロシアのソヴィエト政府も招かれなかった。この会議では、アメリカ大統領（ 1 ）が1918年1月に発表した十四カ条の平和原則^(b)が掲げられた。しかし、フランスのクレマンソー首相やイギリスの（ 2 ）首相が、植民地などの既得権益を手放さず、敗戦国にも厳しい態度で臨んだので、十四カ条の平和原則は国際連盟^(c)の設立以外は十分には実現しなかった。特に（ 3 ）の原則の適用が、敗戦国や旧ロシア支配下の諸民族に限定され、ドイツの租借地や植民地が戦勝列強国に分配されたことは、中国をはじめアジア・アフリカの人々を失望させた^(d)。

そして、1919年6月に調印されたヴェルサイユ条約で、ドイツはすべての植民地を失い、（ 4 ）のフランスへの返還、軍備の制限、ラインラントの非武装化、巨額の賠償金などを課され、国内に強い不満と恨みを残した。このように成立当初から多くの問題性を抱えたヴェルサイユ体制であったが、1920年代半ば頃から国際協調の気運が広がる。1925年のロカルノ条約^(e)ではドイツと西欧諸国との国境の現状維持と相互保障が決まり、翌年ドイツは国際連盟に加入した。1928年には、フランスの（ 5 ）外相とアメリカのケロック国務長官の提唱で、不戦条約が15カ国（のち63カ国）によって調印され、国際紛争解決の手段として戦争に訴えないことが誓われた。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 5 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、第一次世界大戦の敗戦国ではなかった国を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. オーストリア イ. ブルガリア ウ. イタリア エ. オスマン帝国

問3 下線部(b)に関連して、この原則は、ロシアのソヴィエト政府が1917年11月、全世界の政府と人民に対して、敗戦国に寛大な即時講和を呼びかけた布告に対抗する形で発表されている。ソヴィエト政府が出したその布告の名称を答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、国際連盟の理事会における常任理事国ではなかった国を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. 日本 イ. アメリカ ウ. フランス エ. イギリス

問5 下線部(d)に関連して、パリ講和会議で二十一カ条要求の破棄や山東の旧ドイツ権益返還要求が拒否された後の1919年5月、北京の学生たちが抗議デモを行ったのを契機に、中国全土に抗議運動が拡大した。この運動の名称を答えよ。

問6 下線部(e)に関連して、この条約は、スイスのロカルノ会議で合意された一連の条約群の総称であるが、その内容としてふさわしくないものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ザール地方のドイツ帰属決定
- イ. ドイツ西部国境の現状維持
- ウ. ラインラントの非武装
- エ. 国際紛争の仲裁裁判による解決